

サミット 2023年3月期第2四半期決算

【業績概況】

(百万円、%)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期		2023年3月期(計画)	
	金額	前期増減比	金額	前期増減比	金額	前期増減比
営業収益	164,881	-0.1	158,972	-3.6	337,000	4.1
売上高	158,347	-0.1	152,580	-3.6	323,000	3.9
営業利益	5,624	-31.8	2,942	-47.7	8,400	-8.1
経常利益	5,794	-36.1	2,908	-49.8	8,500	-10.3
当期純利益	4,197	-35.3	2,007	-52.2	6,100	0.7

【既存店売上高、客数、客単価 対前期増減率】 (%)

	2022年3月期第2四半期	2023年3月期第2四半期
売上高	-0.2	-5.0
客数	5.6	-3.8
客単価	-5.5	-1.2

サミットの2023年3月期第2四半期決算は、売上高1525億8000万円(前期比3.6%減)、営業利益29億4200万円(47.7%減)、経常利益29億800万円(49.8%減)、中間純利益20億700万円(52.2%減)となり、減収減益決算となった。

通期の見通しは、新型コロナウイルスの感染状況の変化や、世界的な原油価格や原材料の高騰などにより先行きが不透明な状況が続くことが予想され、2022年5月に発表した数値から変更はしない方針。

■各部門売上高

各部門売上高の対前期増減率は合計3.6%減。生鮮食品計4.9%減、総菜およびベーカリー前期比0.6%増、その他商品計3.1%減、家庭用品及び衣料品他計2.3%減。

総菜及びベーカリー計の増加は、ベーカリー6.3%増が要因であり、これは改装によるベーカリーの導入が2店舗あったことや、新商品の開発、味の磨き込みによるもの。

■既存店の状況

売上高5.0%減、客数3.8%減、客単価が1.2%減。客単価の内訳は、1品単価1.4%増、買上点数2.5%減。



サミット株式会社
代表取締役社長 服部 哲也氏

■営業総利益率明細表

粗利率は生鮮食品計26.8%(増減0)、総菜及びベーカリー44.3%(0.4%減)、その他食品計25.2%(0.7%増)、家庭用品及び衣料品他計31.2%(0.8%増)、売上総利益率は28.5%(0.5%増)。